



「火の国もりあげタイ！」 プロジェクト

ロアッソ熊本の選手が行政や地域住民の方と交流を図りながら、地域の「まちづくり」や「まちおこし」の応援を行い、県民と共に熊本を盛り上げていくことを目的としている。

- 活動場所** : 熊本県内49市区町村
(2019年は熊本市東区、宇土市、小国町、西原村、氷川町)
- カテゴリー** : 持続可能な地域づくり
- 協働者** : 行政
- 協働者名** : 熊本県内49市区町村担当者
(2019年は、熊本市東区、宇土市、小国町、西原村、氷川町)

活動で工夫した点

各自治体のニーズに応じ、少しでも満足度を高めるように活動内容の構成を考えた。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

選手派遣のスケジュール調整。イベントなどが、土、日に開催されることが多く試合や練習と重なり派遣依頼に答えることが難しい場合もあった。

クラブや地域の活動後の変化

担当者を含めた自治体の職員がロアッソ熊本を身近に感じてくれるようになり、その後の事業展開に発展した自治体も出てきた。



協働者の声

ロアッソ熊本を身近に感じられるようになった。もっとロアッソ熊本といろいろな事をしたい。ロアッソ熊本を更に応援したくなった。

参加者の声

ハイタッチが出来て選手と身近に触れ合うことができた。多くの方に地域の特産物を知ってもらうことが出来た。バスツアーのおかげで、遠方のためなかなか訪れにくいスタジアムに行くことができた。

活動の「ここぞ！」というPRポイント

各自治体は、ロアッソ熊本を活用して地域の魅力を発信し、その自治体の地域住民が住んでよかったと思える「まちづくり」に貢献し、総合的に理念の「熊本に活力を」に繋げる。

補足

-